


2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 福島市立御山小学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V （複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	全校生399名（高・中・低学年の3ブロックに分けて実施）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（生活・総合）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	2020のパラリンピックへの意識を高め、自国開催であることの意識を感じ取ることや、パラリンピックで行われる競技であるボッチャの体験を通し、障がい者スポーツへの理解を深めるとともに競技を楽しむことをねらいとした。
5 取組内容	<p>パラリンピック競技“ボッチャを知ろう・楽しもう”というテーマのもと大笹生特別支援学校教諭の國分章夫氏を講師に招聘し、高学年・中学年・低学年と3ブロックへの講習会を開いた。当日は、國分氏に映像を用いながらくわしく教えていただいた後に、体育館に作った8面のコートに分かれて教員も参加しゲームを行った。</p>  <p>9月30日 第1回ボッチャ体験会（5・6年生） 児童は高学年らしく講師の先生の話を理解しながら、ボッチャ並びにパラリンピックへの理解を深めた。体験では短い時間でルール等を理解し勝負に臨み楽しんだ。代表児童がお礼を述べ、学級に戻</p>

	<p>ってすぐに振り返りカードにまとめていた。</p> <p>10月18日 第2回ポッチャ体験会（3・4年生）</p> <p>講話はポッチャという競技や日本チームの目指すもの等、学年に応じた配慮をしていただき理解しやすいものだった。体験する時間も多く、全員がポッチャの醍醐味を味わうことができた。また、しっかりとお礼の言葉を代表児童が述べることもできた。</p>  <p>11月21日 第3回ポッチャ体験会（1・2年生）</p> <p>発達段階に合わせて映像も多用していただいた講話を経て、体験会を行った。國分氏の熱心な説明や手本で理解を深めゲームに入る。低学年児童の腕力でも十分にジャックボールに届き、微妙な力加減やチームワークの大切さを自然に身につけていった。代表児童のお礼の言葉の後、何度もガンバレ日本コールをし、國分氏と全員がハイタッチして別れるという心温まる会となった。</p> 
6 主な成果	<p>ポッチャという競技は聞いたことはあるが、実際に触れたことのある児童はほとんどいないのが現状であったが、今回は全員が体験することができ、興味を持ったり理解を深めたりすることができた。それは、國分氏のポッチャに対する情熱を児童が理解しやすいように伝えてくださったことによる。3回の講演も実技体験の進め方も、その都度児童に合わせて変更しながら行っていただいた。全校児童が行った体験会であり、2学期終業式の作文発表では、1年児童の2学期で一番心に残ったこととして紹介された。</p>
7実践において工夫した点（事業の特色）	<p>体育館に8面のコートを作成し、ポッチャセットも8セット（大笹生特別支援学校・県北教育事務所・佐原小学校）借用し、全児童が体験できるようにした。</p>
8主な課題等	<p>今回はポッチャセットを8セット（大笹生特別支援学校・県北教育事務所・佐原小学校）借用できたが、本校の備品はないので、プレイしたい時にすぐにできないことである。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>オリンピック・パラリンピックイヤーを迎えるので、特に調べ学習と様々な体験を結びつけて学びを継続していく。</p>